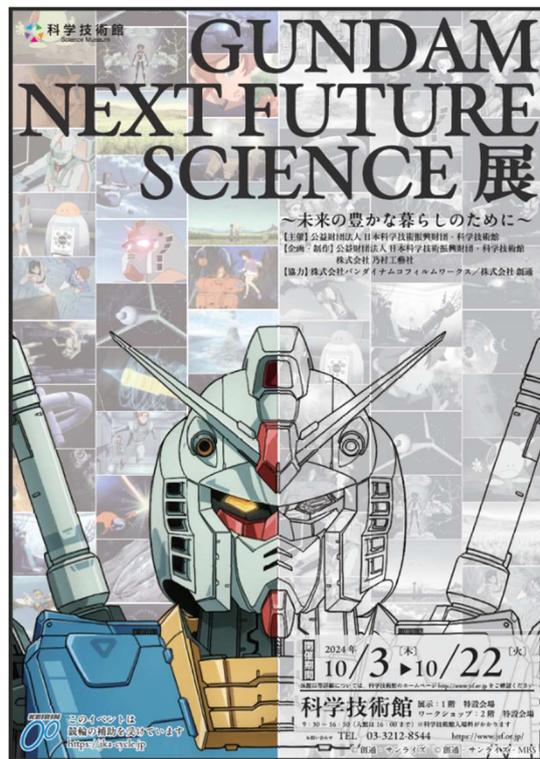


2024 年特別展

GUNDAM NEXT FUTURE SCIENCE 展

～未来の豊かな暮らしのために～

実施報告書



KEIRIN



この特別展は競輪の補助を受けて実施しました

2025 年 2 月



公益財団法人 日本科学技術振興財団
Japan Science Foundation

目次

1. 特別展の概要	.2
2. 特別展イベントマップ	.3
3. 特別展の構成	.4
3-1. 「Space Age of technology～宇宙時代へとつながるテクノロジー～」	.5
3-2. 「The Possibility of MS～汎用人型ロボットの可能性」	.6
3-3. 「Innovation of Future lifestyle～未来のライフスタイル～」	.7
3-4. ガンダムオープンイノベーションサイエンス講座	.8
3-5. ガンダムR作戦	.8
3-6. スタンプラリー	.8
4. 広報活動	.9
4-1. チラシ・ポスター配布	.9
4-2. メールマガジン・SNS	.9
4-3. 科学技術館 WEB サイト	.9
5. 来場者アンケートの結果	.9
6. 謝辞	.9

1. 特別展の概要

名称：「GUNDAM NEXT FUTURE SCIENCE 展～未来の豊かな暮らしのために～」

開催期間：2024年10月3日（木）～10月22日（火）

※10月9日(水)、16日(水)は休館日

場所：科学技術館（東京都千代田区北の丸公園）

科学技術館入場料： 大人 950 円、中高生 600 円、子ども（4歳以上）500 円

主催：公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館

企画制作：公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館、株式会社乃村工藝社

協力：株式会社バンダイナムコフィルムワークス 株式会社 創通

来場者数：17,500 名

●チラシ

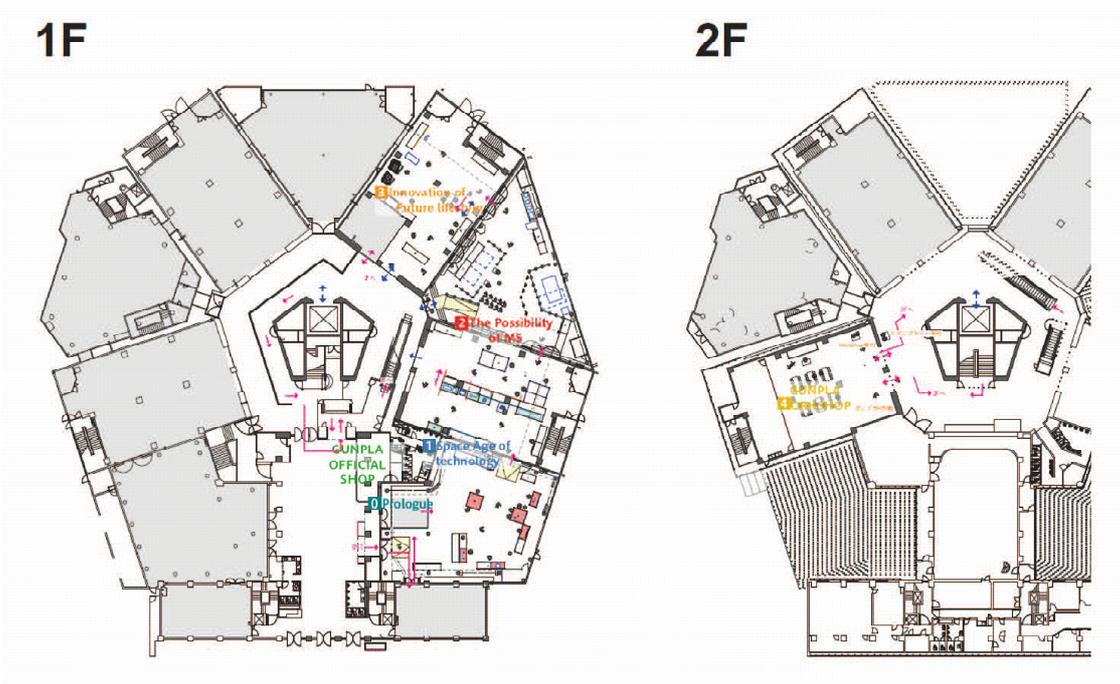


表



裏

2-1. 特別展イベントマップ



1F 詳細



3. 特別展の構成

3-1. 「Space Age of technology～宇宙時代へつながるテクノロジー～」

催事場 10 号館と 9 号館の半分を使用して、宇宙で快適に生活するための食料栽培技術や、デブリ（宇宙ゴミ）の問題について紹介しました。宇宙でのゴミ捕獲シミュレーション体験や、ガンダム作品内のビームサーベルの原理であるプラズマを使った農業の可能性についても紹介し、実物大のビームサーベルも展示しました。



プロローグ



「Space Age of technology
～宇宙時代へつながるテクノロジー～」
パネル展示



宇宙空港/マスクドライバーについて



宇宙世紀がピンチ？ 深刻なデブリ問題



物体の「慣性」を体験してみよう



ビームサーベルプラズマ農業プロジェクト



「動くガンダム」の実物大のビームサーベル



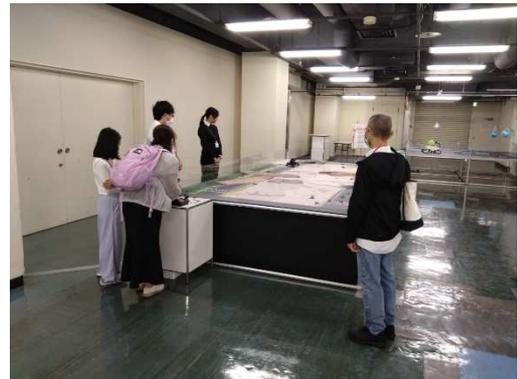
月面でイネは育つ？レゴリスでの実験

3-2. 「The Possibility of MS～汎用人型ロボットの可能性～」

催事場 9 号館の半分と 8 号館を使用し、最新のロボット技術の操作体験やハンズオン展示、パネル展示を通して紹介しました。4 本の足とタイヤをうまく切り替えて、あらゆる地形に対応可能なロボットや、小型ロボット「BALGOI」の操作体験を実施。また、「動くガンダム」の手を使ったじゃんけん体験や、10 月 12 日～14 日までの 3 日間は、4 足歩行型ライドロボット「SR-02」の搭乗体験も行いました。



「The Possibility of MS
～汎用人型ロボットの可能性～」
パネル展示



「Super active suspension 4WD」操作体験



「BALGOI」操作体験



「動くガンダム」の手を使ったじゃんけん体験



「SR-02」搭乗体験



ロボット開発のための原理原則
(ハンズオン展示)

3-3. 「Innovation of Future lifestyle～未来のライフスタイル～」

催事場の7号館には、未来の科学技術について考えるメッセージボードを展示。多くのメッセージが寄せられ、最終日にはボードが埋まるほどの反響を得ました。150周年後の国宝展ガンダムも展示し、記念撮影を楽しむ来場者の姿が見られました。



GUNDAM Message to The Future



150周年後の国宝展ガンダム



エピローグ

3-4. ガンダムオープンイノベーションサイエンス講座

展示棟 2 階特設会場では土日祝日限定で計 10 回のガンダムオープンイノベーションサイエンス講座を開催しました。ガンダムオープンイノベーションの様々なプロジェクトに関わる関係者から講師を招き、ガンダムと科学技術の未来とをつなぐ特別講座を開催しました。どの講座も立ち見が出るほど多くの方に参加いただき、貴重な未来の科学技術の話に熱心に耳を傾けていました。



3-5. ガンダム R 作戦

展示棟 2 階特設会場では土日祝日限定で「ガンダム R (リサイクル) 作戦」を開催しました。参加者にはガンプラのランナー (枠) をリサイクルして生産した「エコプラ」体験キットを進呈。ご家族でエコプラを楽しそうに組み立てている様子が多く見られた。



3-6. スタンプラリー

科学技術館の 2 階から 5 階の各フロアにスタンプ台を設置しました。多くの方にスタンプラリーに参加いただきました。科学技術館に初めて来館された方からは、常設展も楽しいとの声もいただきました。



4. 広報活動

4-1. チラシ・ポスター配布

本特別展のチラシ（A4 サイズ両面）を 20,000 部、ポスター（A2）を 500 部印刷し、近隣の小中学校、博物館へ配布しました。

4-2. メールマガジン・SNS

科学技術館メールマガジン 1 回、X（旧 Twitter）11 回、Facebook8 回、Instagram8 回の計 27 回配信。開催前日に投稿した X の配信はインプレッション 70 万件超、いいね 1 万件超の反響を得ました。

4-3. 科学技術館 WEB サイト

特別展の情報を科学技術館 WEB サイトのイベント案内ページに掲載し、45,250 ビューを記録しました。

5. 来場者アンケートの結果

特別展期間中にウェブフォームでアンケートを実施し、698 件の回答を得ました。回答者の属性は、男性 70%、女性 30%。年齢層は 40 代が 33%、50 代が 26%、30 代が 16%、10 代と 20 代の合計が 20%でした。全体的にガンダムファンが多く、来場者の 49.8%は家族連れでした。

特別展のテーマへの共感性について、「非常に共感した」が 71.2%、「やや共感した」が 25.8%で、合計 97%の方が共感。また、再来場意向について「是非来たい」が 61.6%、「来たい」が 31.5%で、合計 93.1%が再来場を希望しました。

自由記述では、「また開催してほしい」「次回も期待している」「夢のある企画だった」などの声が多数寄せられました。

6. 謝辞

本特別展の開催にあたり、資料提供、映像制作、会場設営、運営などにご協力いただいた企業・団体の皆様に、心より感謝申し上げます。また、本特別展の趣旨に賛同し、協賛や寄付をいただいた企業・団体の皆様にも、深く御礼申し上げます。